

地域とともに「生きる力」を育む学校



国府小だより

第1号

令和8年4月9日(木)



学校 HP 二次元コード

国府小学校は、こころ うつくしい つよい こども 「国府っ子」を育み地域へ貢献します

令和8年度がスタートしました

国府小学校は本年度2クラス48名の新入生を迎え、全校児童276名が新たなクラスの仲間と顔をあわせ、どきどきとわくわくでいっぱい学校生活が始まりました。「こころ うつくしい つよい こども『国府っ子』」を育み地域貢献することをスクールミッションに、「こころ うつくしい つよい 大人」として、職員一同、一丸となってチームで国府小学校を素敵な学校にしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

学校教育目標 **こころ うつくしい つよい こども 「国府っ子」の育成** ～ 地域とともに「生きる力」を育む学校 ～

<理念>

こどもたちがこれからの社会を生き抜くために、義務教育6年間で小学校という社会生活を通して身に着ける力を、「国府っ子(こうっこ)」という言葉で表します。

- こ:こころ 自分を律し、他者を敬い、磨き続ける心
- う:うつくしい 「よりよくありたい」という誰のこころにもある願いや思いの表れ
その願いや思いを形にするために、真摯に学び、試行し続ける姿
- つ:つよい 「うつくしくありたい」という願いや思いを実現するための、意志と心身の基盤
困難に直面しても、自分の願いをあきらめないしなやかな強さ
- こ:こども 本校すべてのこどもたち

<スクールミッション:地域への貢献としての教育>

本校における「地域とともに」とは、単なる連携や協力にとどまりません。

・学校の役割

こころ うつくしい つよい こども 「国府っ子」を育むことは、将来の地域を支える宝を育てることであり、学校から地域への恩返しは国府っ子の育成であると考えます。

・大人の在り方

教職員、保護者、地域の大人が一体となり、自らも「こころ うつくしい つよい おとな」としてこどもたちの手本となりその姿を背中ですすことで「国府っ子」へと導く環境をつくります。

<こどもの言動を価値付けます>

学校では、こどもたちのこころのうつくしきやつよさを、その言動と紐づけて、しっかり伝えていきたいと思えます。たとえば、さりげなくごみを拾う子がいたら、「ゴミに気づくこころはうつくしいね。拾うこころはつよいね。」と。

ご家庭でもぜひ、どんな言動がうつくしくつよいか、お子さんの姿をその場でその時に言葉で伝えてあげてください。

よいよい教育活動をめざして…

本校では令和 8 年度より、お子様にとっても教職員にとってもより安心・安全な学校づくりを目指し、全校体制で「チーム担任制」に取り組みます。

これまで小学校では、一人の担任が学級のすべてを担う「固定担任制」が一般的ですが、本校では、出張等で担任が不在の際に他の職員が協力して対応するように、特定の担任一人でなく、学年部の複数の教職員が「チーム」として学年全体の児童を見守る体制を日常化していきます。

1. 「組織としての指導力」による多面的な見守り

各学年では、学級担任だけでなく、学年担当の職員を含めた複数の教員がチームを組んで指導にあたります。複数の教員が関わることで、お子様の小さな変化や良さを多面的な視点で見取ることが可能になります。また、教員同士が日常的に情報を共有し、指導の足並みをそろえることで組織としての対応力を高めます。

2. お子様の安心感と多様な関わりの重視

「チーム担任制」では、多くの教員との触れ合いを通じて、こどもたちの心理的な安心感を育むとともに、多様な考え方や価値観に触れる機会を増やします。

3. 多様な勤務体系を支え合う柔軟な運営

教職員には介護や育児など多様なライフステージがあり、勤務体系も様々です。チーム担任制により、各教員の専門性や多様な働き方を活かしつつ、朝の受け入れから放課後まで、学年チームが責任をもって一貫した教育活動を行います。担任が不在の時間帯が生じる場合も、学年部の他の教職員が滞りなく対応します。

学校全体の教職員が「全員の担任」という意識をもち、お子様一人ひとりを大切に、「国府っ子」としてしっかり育てていきます。新しい体制へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



4月8日始業式にあたり、今年度赴任教職員の着任式を行いました。国府っ子たちは、どの子どももしっかりと目でお話を聴き、すばらしい姿をみせてくれました。体育館は、とてもうつくしく、つよいところで満ちあふれていました。



本日4月9日、令和8年度入学式を行いました。期待と不安でドキドキわくわくの新入生たち。在校生を代表して、児童会会長がやさしく迎えました。